

# ロシア・東欧学会

The Japanese Association for Russian and East European Studies

# Newsletter No. 12

## 2006 年度大会 11月18-19日に 青山学院大学で開催

ロシア・東欧学会 2006 年度(第 35 回)大会は、2006 年 11 月 18 日(土)・19 日(日)の両日、東京の青山学院大学で開催されることが決まりました。また、今年度の大会では、Japanese Society for Slavic and East European Studies (JSSEES) との一部共催も検討されることになりました。久々の東京での開催です。会員諸氏多数の参加が期待されます。

## 2006 年度大会 自由論題報告希望者募集 締め切りは 5 月末日必着

ロシア・東欧学会 2006 年度大会の自由論題報告を希望される会員は、2006 年 5 月末日までに、氏名、住所、電話番号、所属、報告のタイトル、報告要旨(400 字以内)を、ロシア・東欧学会事務局まで e-mail(やむを得ない場合は郵便で)お知らせ下さい。なお、この報告要旨は、分野別に編成される分科会への割り振りを決定する際の参考にするためのもので、大会当日に配布するレジメではありません。レジメの提出期限等については、別途、各報告者にお知らせしますが、9 月末～10 月中旬ぐらいがメドになります。

なお、大会プログラムの詳細は未定ですので、大会期日の 11 月 18 日(土)・19 日(日)のいずれの日のどの時間帯に自由論題報告がおこなわれるかも現時点では未定です。プログラムの詳細は決まり次第ホームページその他の方法で告知されますので、あらかじめご承知おき下さい。

また報告者数は、プログラム編成上、限りがありま

すので、自由論題報告希望者数が報告可能人数を上回った場合には、同一会員が 2 年連続で報告するのを避ける、過去の報告回数の少ない会員を優先する、当学会における報告として論題が適切かどうかを考慮する、という原則によって理事会・企画委員会が検討し、報告をご遠慮いただく場合がありますので、この点もあらかじめご承知おき下さい。

## 2005 年度第 2 回理事会開催

2006 年 1 月 15 日(日)、法政大学市ヶ谷キャンパスで 2005 年度第 2 回理事会が開催されました。袴田茂樹代表理事の挨拶のあと、理事会では以下の報告および審議が行われました。

### 1. 報告事項

(1) 香川敏幸会誌編集委員長より、会誌第 34 号(2005 年度)は 2006 年 3 ないし 4 月に、また会誌第 35 号(2006 年度)は、2006 年 9 ないし 10 月に刊行予定であること、したがってこの第 35 号の年内発行をもって、発行年の遅れが是正されることになるとの報告がありました。また、このため 2006 年度に限っては、年 2 回刊行となるため、予算も 200 万円を計上するというかたちになるとの報告もあわせてなされました。

(2) 羽場事務局長より、2006 年 1 月 15 日までの 2005 年度仮決算について(資料 2)、年度末までに 60 万円ほどの支出予定があること、会費値上げの結果、会費納入率が低下し、とくに、院生会費、法人会費につき検討の必要があると考えられること、

2006 年度予算案について、会費納入率を低めに設定したこと、雑誌 2 回発行分として 200 万円を計上したこと、事務局費などは昨年並みであること、理事選挙の年となるため、選挙管理費を計上したこと、会費納入状況(別紙)秋に比べかなり改善されたこと、

新入会員および退会者、について報告がなされました。(3) 上垣彰 2005 年度(第 34 回)大会実行委員長より大会会計報告がおこなわれ、大学より補助金が出

表1 2005年度仮決算および2006年度予算案[2006年1月15日現在]

	2005年度予算	2005年度仮決算	2006年度予算案
収入の部			
前年度繰越金	2,034,709	2,034,709	3,000,000
会費(注1)	2,800,000	3,331,000	3,040,000
個人	2,650,000	3,131,000	2,890,000
正会員	2,450,000	2,911,000	2,650,000
院生会員	200,000	220,000	240,000
団体	150,000	200,000	150,000
維持会費	24,000	8,000	20,000
寄付	200,000	32,140	50,000
利息	30	3	30
雑収入	10,000	47,000	20,000
収入小計	3,034,030	3,418,143	3,130,030
総計	5,068,739	5,452,852	6,130,030
支出の部			
大会費	300,000	190,500	300,000
年報発行費(注2)	1,300,000	893,542	2,100,000
年報印刷費	1,200,000	877,437	2,000,000
ニューズレター印刷費	100,000	16,105	100,000
年報発行編集費	0	0	0
事業費(注3)	40,000	30,000	40,000
学会会議費用	40,000	0	40,000
事務局費(事務, 謝礼)	300,000	238,970	300,000
事務用品・コピー代	80,000	13,328	80,000
会議費補助	620,000	291,959	620,000
選挙管理費	0	0	100,000
会員名簿印刷代	50,000	39,165	50,000
通信・発送費	160,000	118,020	160,000
利息・手数料料金(注3)	40,000	25,017	40,000
予備費(注4)	200,000	0	200,000
支出小計	3,130,000	1,840,501	4,030,000
繰越金	1,938,739	3,612,351	2,100,030
総計	5,068,739	5,452,852	6,130,030

(注1) 2006年度予算の会費額は、2005年度の納入状況より、会員総数412名のうち、正会員(331名)80%、院生会員(69名)70%、法人会員(6団体)60%、名誉会員(6名)、で試算。2005年度の会費納入率は、2006年1月15日現在で、正会員(331名)81%、院生会員(69名)65%、法人会員(6団体)50%である。

(注2) 年報発行費は、まる1年の遅れに対して、編集委員会の努力で、今年度、2冊を刊行して年度をあわせただので、例年の2倍必要となった。

(注3) 事業費は、JCREESおよび地域研究会連絡協議会の負担金。

(注4) 「利息・手数料」は、事務局費に含まれる銀行手数料を郵便振替払込料金と合わせたもの。

(注5) 予備費は、大会開催や、施設使用料が必要な場合の支出。

表2 新入会員

	氏名	所属	専攻	推薦者	
1	木村 崇	京都大学大学院人間・環境学研究科	ロシア文学	袴田茂樹	羽場久子
2	早坂 真理	東京工業大学大学院社会理工学研究科	近代東欧史	袴田茂樹	羽場久子

たため学会に10万円を返金すること、ルーマニア大使に対してショートノティスであったために交通費を支給したことが報告されました。

(4) 羽場事務局長より、理事選挙を、4ないし5月に、選挙管理委員会から選挙権のある会員に当てる委員長名で理事選挙の投票用紙を発送して郵便投票を実施、6ないし7月の理事会前に開票して投票によって選出する理事20名を確定し、11月の大会において、投票により選出された理事の会合を開催して、残りの理事20名を選出の上、新理事による第1回理事会を開催し、新代表理事を選出し、総会での承認を得るというスケジュールで実施することが報告されました。

(5) 第20期学術会議経済学委員会については溝端佐登史理事が現況について、地域研究委員会については羽場久子事務局長がロシア・東欧地域から日本ロシア・東欧研究連絡協議会(JCREES)の座長でもある袴田茂樹代表理事を推薦した旨、報告がありました。

## 2. 審議事項

(1) 2005年度決算報告についての審議がおこなわれ、承認されました[表1]。

(2) 2006年度予算案についての審議がおこなわれ、承認されました[表1]。ホームページ作成アルバイト経費、研究共同大会などについての予備費を計上してはどうかとの提案があり、承認されました。

(3) 会費について、関連学科に所属する院生については1,000円の減免をおこなうことについての提案がなされ、承認されました。

(4) 袴田茂樹代表理事より、2006年度大会について、2006年11月18日(土)・19日(日)に東京の青山学院大学で開催すること、Japanese Society for Slavic and East European Studies(JSSEES)と一部を共催すること、今後、ロシア・東欧地域を研究対象としている他の学協会との共催を検討したいとの提案がなされ、承認されました。

(5) 大会企画委員会の選出がおこなわれ、委員には、伊東孝之(委員長・早稲田大学)、小山洋司(新潟大

学)、下斗米伸夫(法政大学)、袴田茂樹(開催校代表・青山学院大学)、羽場久子(事務局・法政大学)、湯浅剛(防衛研究所)の各氏が選出されました。

(6) 選挙管理委員会の選出がおこなわれ、委員には、左治木吾郎(委員長・東京国際大学)、斉藤元秀(杏林大学)、中村裕(秋田大学)、溝端佐登史(京都大学)の各氏が選出されました。

(7) 会誌寄贈先について、事務局より、増刷は10,000円程度、郵送費は50冊で6,000円、75冊でも9,000円程度の経費なので、50ないし75冊程度の機関・団体に寄贈してもよいのではないかと提案があり、承認されました。具体的な寄贈先については会誌編集委員会と事務局で選択すること、海外の学会・機関にも寄贈することも承認されました。

(8) 袴田代表理事より、ロシア、中央アジア、中・東欧、黒海沿岸地域をカバーしうるロシア・東欧学会の新名称を検討すべきとの提案があり、タスクフォース(専門委員会)を設けて検討していくことが承認されました。タスクフォース委員には、伊東孝之(早稲田大学)、稲垣文昭(筑波大学大学院)、上垣彰(西南学院大学)、上野俊彦(上智大学)、袴田茂樹(青山学院大学)、羽場久子(法政大学)が選出されました。

(9) 新入会員の承認[表2]および退会者(森本良男氏)についての報告がおこなわれました。

## 年会費、維持会費の納入とご寄付のお願い

2006年度年会費のお支払いをお願いいたします。また2005年度までの年会費未払いの方も、恐縮ですが2005年度までの会費を合わせてお支払い下さい。なお、年会費は、2004年度総会決定により、2005年度より、一般会員10,000円となっておりますのでお間違えのないようお願いいたします。従来どおり5,000円です。なお、同時に法人会員の会費も50,000円となっておりますので、よろしくお願いいたします。寄付は金額にかかわらずお受けしております。

1年以上未納の方には雑誌が送られなくなります。  
3年未納が続きますと、ご連絡の上、会員から除籍されますのでくれぐれもご注意ください。お忙しいとは存じますが、振込みをどうぞよろしくお願いたします。

会費についてご不明の点がありましたら、事務局までお問い合わせ下さい。

## 『ロシア・東欧学会年報「ロシア・東欧研究」』原稿募集

論文、研究ノート、書評、資料紹介の原稿を募集しています。2006年度の応募締切日、原稿締切についておよびそのほか詳しいことについては、会誌編集委員会にお問い合わせ下さい。執筆要領については、ロシア・東欧学会ホームページの会則・諸規程のページないしは会誌巻末の「投稿規程・執筆要領」をごらん下さい。

### 投稿申込先・原稿送付先

ロシア・東欧学会会誌編集委員会  
〒252-8520 神奈川県藤沢市遠藤 5322  
慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス内  
総合政策学部・香川敏幸研究室気付  
505 研究室直通 Tel & Fax: 0466-49-3491;  
E-mail: kgw@sfc.keio.ac.jp;  
URL: <http://www.sfc.keio.ac.jp/~kgw/>

### ロシア・東欧学会事務局

〒102-8160 東京都千代田区富士見町 2-17-2  
法政大学市ヶ谷校舎ボアソナード・タワー16階  
羽場久子研究室気付  
E-mail: [russia-ee@side.pobox.ne.jp](mailto:russia-ee@side.pobox.ne.jp)  
URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/roto/index.html>  
Newsletter および HP 作成担当：上野俊彦  
E-mail: [uenot@mc.newweb.ne.jp](mailto:uenot@mc.newweb.ne.jp)